

動き

題字：長野市陸協
三代目会長 山浦 保先生

右代(十種)・中村(400mH)選手 ロンドン五輪決定

第96回日本選手権(混成競技)開催

右代啓祐(スズキ浜松AC)選手 3連覇 8037点

第28回日本ジュニア混成競技：大日方さん(文化学園長野)6位入賞



十種競技 左から中村・右代・辻井選手
(長野市営陸上競技場 2012/6/3 21:15)



第96回日本陸上競技選手権 混成競技大会を終えて 長野陸協実行委員長 伊藤 利博

第96回日本陸上競技選手権大会(混成競技)の長野市開催が、日本陸連理事会で決定された。その瞬間から、「長野からロンドンオリンピックへ」のキャッチフレーズが、私の脳裏から離れることなく、大会に向けて準備を進めてまいりました。

長野陸協に実行委員会を組織して、何回かの会議を重ねるも、正直いって、実際に混成競技大会を見ていないので、競技会のイメージが湧いてくるまでに時間がかかり、本番を迎えるまで不安だらけでした。

前回大会を視察した役員の話では、『競技場は閑散としていて、選手だけで競技を続けていた』という事実を知るにつけても、長野大会はぜひ観客を動員して、選手と観客が一体となり選手を応援する雰囲気作り、選手自身が記録への挑戦をかき立てるようにしようと、計画を練り、競技会の合間にサブイベント開催を決め、小・中・高・一般の選手を招いて短距離種目を中心とする競技会を実施することにしました。

当日は、まずまずの天候と、心配された観客も思った以上に競技場に足を運んで下さり、好記録への期待の高まる舞台を設定することができました。二日目の途中までは、順調に

進み、右代選手も昨年の日本記録を更新した時よりも、かなり高い得点をマークして、“オリンピックA標準を突破してロンドンオリンピック決定”とシナリオは進んでいましたが、8種目あたりから雷雨に見舞われ、私たちの思惑も外れ、8000点には達したものの、その時点でのロンドン行きは決まりませんでした。

日本陸連選考会議において、右代・中村両選手の晴れのオリンピック出場が決まり、「長野からロンドンオリンピックへ」が実現できて、こんなに嬉しいことはありません。これも審判員各位の迅速な対応や競技役員同士の連携、観衆の力強い後押しがあったからこそだと思っています。

これまで準備を進める中で、内山了治長野市陸協理事長の陸連への適切な対応等がなかったならば、大会は順調にはいかなかったと思っています。

ご協力をいただいた各方面の皆様方に心より感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

☆☆ もくじ ☆☆

▶日本選手権混成競技開催... 1	▶栄章受章・新規審判員一覧... 5
▶日本選手権混成を終えて... 2	▶4月~7月競技会結果... 5
▶日本選手権混成競技結果... 2	▶全中・全国高校出場者一覧... 6
▶日本戦選手権観戦記... 3	▶市陸協理事会連絡とお願い... 6
▶Hopeさん 太田君(北部高) .. 4	▶ロンドン五輪情報... 6
▶市町村対抗駅伝・小学生駅伝... 4	▶編集後記... 6

「長野初の日本陸上競技選手権大会混成競技を終えて」

長野陸協理事長 細田 完二



去る、6月2・3日に長野市営陸上競技場で、日本陸上競技選手権大会(混成競技)が開催され、雷雨で2時間以上中断されるハプニングもありましたが、何とかスタッフの皆様のご協力のおかげで無事大会を終える事が出来ました。

特に、長野市陸協の皆様方、共催していただいた長野市・長野市教育委員会・信濃毎日新聞社、その他、協賛していただいた方々に感謝とお礼を申し上げたいと思います。

長野県で、日本選手権クラスの大会は初めてであり、本大会は今回を含めて3年間、長野市で行なわれる予定です。この大会開催のきっかけは、2・3年前に松本で日本陸連主催の陸上競技技術講習会があり、その際に日本陸連関係者との話の中で、過去長野県出身者が日本選手権混成競技大会で3名も優勝者を出しているという事で、ぜひ長野県でやろうという話が生まれた訳であります。

約1年前、今大会開催が長野市営で行なう方向が決定され、長野市陸協の方々を中心に実行委員会を結成、伊藤長野陸協副会長を実行委員長として準備を進めてまいりました。

特に内山長野市陸協理事長のご苦勞のもと、何とか大会が実施されました。本当にご協力ありがとうございました。

また、来年も、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

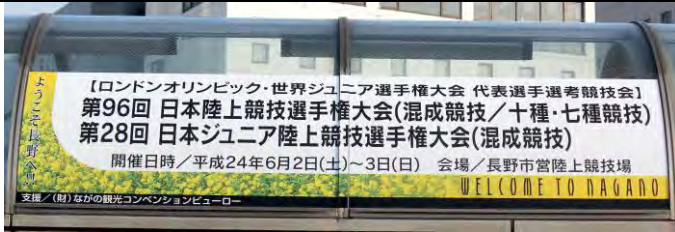
右代 啓祐選手3連覇 48年ぶり五輪出場決定
中村 明彦選手 400mHで五輪代表入り

ロンドンオリンピック最終予選会を兼ねた第96回日本陸上競技選手権大会(混成競技)、第28回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技)およびそのサブイベントとして第1回長野県選抜陸上・長野市大会が、6月2日、3日に長野市営競技場で開催された。1日目は絶好のコンディションに恵まれたが、2日目15時前から雷雨となり競技が2時間近く中断し、大幅に競技進行が遅れ、十種競技最終種目である1500mの出発は午後8時45分となった。男子十種競技は日本記録保持者の右代啓祐(スズキ浜松AC)選手が8037点で3連覇したが、五輪参加A標準記録である8200点には届かず自動内定は逃した。6月11日、日本陸連が代表を決定し、この種目では1964年東京大会以来48年ぶりとなる五輪出場が確定した。また、同種目2位に入賞した中村明彦(中京大)選手は、6月9日の日本選手権(大阪長居競技場)400mHで五輪参加A標準記録49秒50を突破する49秒38で2位となり、この種目での五輪代表に決定した。

女子七種競技は、最終種目の800mで赤井涼香(中央大)選手が昨年優勝の桐山智衣(中京大)選手を逆転し、初優勝した。

長野県関係では、ジュニア女子七種競技に出場した大日方紗愛(文化学園長野高)選手が自己記録を更新する4258点で6位に入賞し、女子七種競技で宮澤七夕子(信州大・長野吉田高出身)選手が20位、ジュニア男子十種競技の小宮山彦毅(東京学芸大・上田高校出身)選手は8位だった。なお、大日方選手と宮澤選手は長野(開催)陸協の推薦により出場が認められた。

自己新	第96回日本陸上競技選手権大会(混成競技)結果					第28回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技)結果												
	順位	十種競技 選手名/所属	総合 得点	七種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア十種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア七種競技 選手名/所属	総合 得点			総合 得点	順位					
	1	右代 啓祐 ウシロ ケイスケ スズキ浜松アスリートクラブ	8037	赤井 涼香 アカイ スズカ 中央大学	5451	清水 剛士 シミズ ツヨシ 近畿大学工業高等専門学校	6921	伊藤 明子 イトウ アキコ 田園調布学園高等部	4890									
	2	中村 明彦 ナカムラ アキヒコ 中京大学	7710	桐山 智衣 キリヤマ チエ 中京大学	5430	武内 勇一 タケウチ ユウイチ 東京学芸大学	6734	山岡 未与 ヤマオカ ミト 東大阪大学敬愛高等学校	4735									
	3	辻井 亮太 ツジイ リョウタ アラキスポーツ	7600	竹原 史恵 タケハラ フミエ 長谷川体育施設	5384	林 祐太郎 ハヤシ ユウタロウ びわこ成蹊スポーツ大学	6339	金沢 理恵 カナザワ リエ 大阪成蹊大学	4658									
	4	東中 陽太郎 ヒガシナカ ヨウタロウ 中京大クラブ	7315	横田 美帆 ヨコタ ミホ J.VIC	5136	船場 大地 フナバ タイチ 東京学芸大学	6297	山本 千裕 ヤマモト チヒロ 福島大学	4449									
	5	村田 龍 ムラタ リュウ チームミズノアスレティッククラブ	7264	春田 亜沙美 ハルタ アサミ 筑波大学	5036	梅垣 勇人 ウメガキ ハヤト 中京大学	6125	三森 也実 ミツモリ ナリミ 中京大学	4421									
	6	音部 拓仁 オトベタクミ 平成国際大学AC	7222	富山 朝代 トミヤマ アサヨ 東大阪市陸協	4987	関口 紘樹 セキグチ ヒロキ 順天堂大学	6035	大日方 紗愛 オビナタ サエ 文化学園長野高等学校	4258									
十種競技上位3名詳細		選手名/所属	自己最高	100m	走幅跳	砲丸投 7.26kg	走高跳	400m	第1日目		110mH	円盤投 2.00kg	棒高跳	やり投 0.80kg	1500m	総合 得点	順位	
		右代 啓祐 ウシロ ケイスケ スズキ浜松アスリートクラブ	記録	11.29	7.45	13.89	2.03	50.58	4060	2	15.01	47.25	4.70	66.27	4:42.63	8037	1	
			得点	797	922	722	831	788			848	813	819	833	664			
			得点累計	797	1719	2441	3272	4060			4908	5721	6540	7373	8037			
		中村 明彦 ナカムラ アキヒコ 中京大学	記録	10.81	7.08	11.94	2.03	47.17	4120	1	14.11	32.61	4.20	50.05	4:14.09	7710	2	
			得点	903	833	603	831	950			960	516	673	589	852			
			得点累計	903	1736	2339	3170	4120			5080	5596	6269	6858	7710			
		辻井 亮太 ツジイ リョウタ アラキスポーツ	記録	11.11	7.14	13.16	1.91	50.82	3860	4	14.57	39.14	4.60	57.98	4:37.91	7600	3	
			得点	836	847	677	723	777			902	647	790	707	694			
			得点累計	836	1683	2360	3083	3860			4762	5409	6199	6906	7600			



JR長野駅善光寺口 大会歓迎看板 (財)ながの観光コンベンションビューロー提供



最終 1500m: 暗闇の中、大勢の方にご声援を頂いた(20:45 スタート)



走高跳を撮影するスタンドのカメラマン



右代選手 2m06 への挑戦



各種目優勝者への花束贈呈

日本陸上競技選手権(混成競技)を観戦して

内田 直美 (旧姓 屋ケ田)



初めての日本選手権開催とは思えない、すばらしい大会運営だったと思います。事前準備や当日の対応等、担当してくださった方々のご尽力の賜物だと思いました。

私は土曜日しか観戦できませんでしたが、会場と一体となった雰囲気作り、サブイベント開催による観客動員、わかりやすく親しみやすい場内アナウンスによる解説、将来のアスリート達たちによる種目ごとの表彰セレモニーなど、本当にアットホームな良い大会だと思いました。

選手にとっても、風向きの配慮、急きょ投擲のピットを増やし2班に分けるなど、臨機応変な競技運営により、ベストな状態で競技に臨める事は、この大会ならではのことであり、本気で記録を狙える貴重な大会になるはずです。

観客も、本気で戦う選手の姿には何かを感じてくれるでしょうし、審判の方々の熱も入り、選手たちも、ホンモノに間近で接することができ、良い刺激を受けるでしょう。

もし、可能であるならば、陸上とは縁のない人たち(たとえば、プラスバンド演奏をどこかで、パフォーマンスとか、地元の方々の協力などでサブイベント、とか...)を動員できれば、このすばらしい大会を更に盛り上げ有意義なものに出来るのではないのでしょうか。

日本選手権という権威ある大会の開催を重ねる事で、審判員の意識向上が望め、長野県選手のレベルのアップにもつながると思うので、是非数年続けての開催をお願いいたします。

この度は、ご招待いただき、また、素晴らしい大会を長野の地で観戦できましたこと、深く感謝し心から御礼申し上げます。

内田さん(大野高一中央大出身)には松田先生ともに、日本選手権混成競技優勝者の立場から「長野陸協アドバイザー」として、ご教示頂きました。



(更級農業高校栽培)

アナウンサーの視点から

アナウンサー担当 石井 朗生



6月の日本選手権混成競技で、アナウンスを務めさせていただきました。トラックやフィールドでマイクを持ちながら競技場全体を見渡すたびに、競技役員や補助員の皆さん、観戦に来

られた方々の姿が目に入り、皆様の大きな力によって大会が成り立っていることを肌で感じました。

悪天候や大幅な競技進行の遅れにもかかわらず、最後までたくさんの方に大会を盛り上げていただきましたこと、混成競技に関わる一人として心よりお礼申し上げます。また、かつて(1997~99年に)長野に勤務し、あの競技場のサブトラックで時々走っていた私としては、長野の皆さんの後押しで右代、中村の2人をロンドン五輪へ送り出していただけたことを、とてもうれしく思います。

2日間、混成競技や陸上競技全体、あるいは選手のことを、少しでも知ってもらえば、より楽しんで観戦していただけるかな……と考えながらアナウンスをさせていただきました。陸上競技は単純なようで、実はとても奥が深く、知れば知るほど面白い競技だと思うからです。観客の皆さんのお役に立てたのか、うるさくて耳障りだったのかはわかりませんが、何か一つでも「へえ〜」と思ったことや、一人でも応援したい選手を見つけられたら幸いです。

私は6月下旬から、五輪取材に向けてロンドンにきています。五輪の話題があふれる日本と違い、英国ではなかなかムードが盛り上がりませんが、大会開幕10日前を過ぎ、各国の選手もロンドンに入り始めてから、急に五輪への注目が高まってきました。例年より天候が不順らしく、7月に入っても20度を超えない日が続く寒いくらいなのが心配ですが、本番では好天に恵まれることを期待したいと思います。

日本選手権十種競技2位で400mHの五輪代表になった中村は8月3日午前(日本時間3日夕方)に予選。日本選手権3連覇で十種競技の代表になった右代の出番は8月8、9日。長野からロンドンへ向けて応援の気持ちを送ってください。よろしくお願いします。

サブイベント 小学生4×100mリレー優勝



長野市陸上競技教室チームが見事小学生女子400mR(1分2秒50)で優勝した右端は30年以上継続指導している教室総責任者 西片 功 長野市陸協副会長



大日方(文化学園長野)さん
ジュニア女子七種競技6位

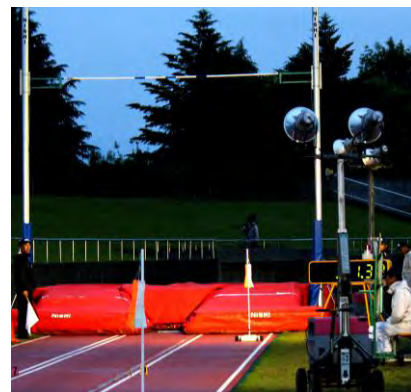


投てき
運搬車
ニススポーツ提供

競技者も、審判員も命がけ!!

夕暮れが深まり照度が足りず、棒高跳のボックスが見えず選手には危険が迫っていた。また、やり投は、暗闇の中から投げ出されるため、落下地点判定の審判員は命がけであった。

隣の多目的広場、球場そしてテニスコートは照明が完備されているが、陸上競技場は正面芝のみを照らす簡易照明であり、最悪の1500mをNHKや民放各社が全国放映した。「スポーツを軸としたまちづくり」のキャッチフレーズが虚しく響く。要望は出していたのだが……。



第28回 Hope さん
インターハイに向けて
北部高等学校3年 太田 一矢 君



昨年の岩手インターハイには100m、200mで出場した今村迅人先輩のマネージャーとして参加しました。そこで全国大会のレベルや雰囲気を知り、私もインターハイに出場し活躍したいと思い、一年間練習に励んできました。

そして、今年の北信越では自己新記録となる57m53を投げ、優勝することができ、新潟インターハイへの出場権を得ることができました。インターハイは私にとって一生に一度しかない夢の舞台であるので、

今までの練習の成果を全て発揮し、お世話になった多くの方々のためにも悔いのない投げをしてきたいと思います。

第22回長野県市町村対抗駅伝を振り返って
長野市チーム監督 田中 哲広

去る4月30日(月)に第22回長野県市町村対抗駅伝競走大会が行なわれました。長野市チームは12連覇を達成している中、今年の目標も優勝・13連覇を目指して練習を重ねて来ました。しかし、大会直前にチームのエースである平田選手が怪我により出場できない事態にも見舞われ、優勝は厳しい状況の中、大会当日を迎えました。

レースは、1区小林選手、2区丸山選手の中学生で先頭に立ち、序盤のポイント区間と見ていた3区の青木選手、エース区間を託した4区中村選手、5区玉城選手がレースの主導権を

握りながら、6区玉城選手、7区山田選手の高校生コンビが他チームの大学生・社会人選手と互角に競り合い、先頭と18秒差の3位でアンカーの寺島選手へ襷は渡りました。

必死に先頭を追い区間賞の走りで激走も、惜しくも8秒差の2位で優勝・連覇は逃す結果となりましたが、今大会を振り返ると、若い選手のレースに懸ける強い思いが走りに生かされ、よりチームの結束力を深めてくれたように感じました。そして、こうした場での経験が今後のレースや秋の縦断駅伝で生かせるものと思います。

最後に、力を貸していただいた中学生・高校生の各諸先生方、並びに長野市陸協の皆様方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

V3 第8回市町村対抗小学生駅伝大会
ジュニア部長・チーム監督 竹内 万祐



3月10日に長野市の選手選考会を長野市営陸上競技場で行い、6名の選手を選抜しました。今年も全員が川中島ジュニアランニングクラブの選手でしたので、3連覇に向かって練習もしっかり積めました。今年は6年生が1名でしたので5年生主体のチームで不安でしたが、1区でただ1人の6年生小林成美さんがトップと僅差の4位。いい流れを作って2区へ。2区の丸山拓真君が3人抜きでトップに立って3区の和田真菜さんが2位を引き離して、アンカーの田中圭君が2位に11秒差をつけて3連覇のゴールを切りました。まさにチームワークの勝利でした。また子供達の素晴らしい走り感動しました。今後も日々努力し連覇を続けたいと思います。

応援していただいた方々並びに長野市陸上競技協会の皆様方に心より感謝申し上げます。



左から丸山さん・渡辺さん・浦野さん・内山さん
長野市陸協祝賀会 (ホテルメルパルク 7/2)



左から島田君・山本君・内山さん・鷺沢市長・瀧澤さん・大和君・吉原さん
(財)長野市体育協会 H23 年度功績者表彰式 (長野市役所 5/29)

☆(財)長野市体育協会

勲功章

- 内山 みのり(長野高校教員)
- 藤森 要(長野吉田高校教員)
- 北原 亮(長野高3年)
- 佐々木 文華(長野東高校3年)
- 中野 直哉(長野吉田高2年)
- 山本 龍一(長野高専4年)
- 長野東高女子駅伝チーム
- 長野高専全国高専大会400mリレーチーム
- 真柳 亜美(長野東高2年)
- 瀧澤 彩(長野高2年)
- 吉原 沙季(長野高専4年)
- 島田 康陽(長野高専4年)

H23 年度日本陸連 B 級公認審判員新規取得者

- 斎藤 大起(長野高専職員) (敬称略、学年はH23 年度)
- 池田 美和(サンライフ長野)
- 小林 史江(長野高専 4 年)
- 横田 真理恵(長野高専 3 年)
- 江森 静香(文化学園長野高)
- 長崎 ひとみ(長野工業高)
- 塚田 猛(若穂ランニングクラブ)
- 土屋 陽祐(桜ヶ岡中)

受章者一覧 (敬称略、学年はH23年度)

☆公益財団法人日本陸上競技連盟

- 秩父宮章 浦野 義忠(長野吉田高校教員)
- 高校優秀指導者章 内山 了治(長野高専教授)

☆(一財)長野陸上競技協会

- 審判員功労章 碓井 真(長野日大高校教員)
- 指導者功績章 丸山 浩史(会社員)
- 指導者功績章 渡辺 誠一(長野高専准教授)
- 勲功章 中野 直哉(長野吉田高2年)
- 北澤 春香(長野東高3年)
- 鈴木 真綾(長野東高3年)
- 瀧澤 茜(長野東高3年)
- 真柳 亜美(長野東高2年)
- 細田 あい(長野東高1年)
- 大和 史明(長野日大高3年)

4 ~ 7 月までの長野市陸協関係の大会成績 (全国大会関係)

★第 96 回日本陸上競技選手権大会

早川 男子110mH 5位、峰村 女子1500m 8位入賞

- 期日:6月 8 日 (金) ~ 6 月 10 日(日) 会場:長居 (大阪)
- ・男子110mH 5位 早川 恭平(早稲田大:長野吉田出身)13.92(-0.6)
準決勝 13秒87 長野県新記録 (6月10日)
- ・女子1500m 8位 峰村 いづみ(中央大:長野吉田出身)4:22.92
- ・女子 400mH 準決勝 6着 瀧澤 彩 長野高 59.46 (6月9日)

★全国高校総体出場者一覧 (2012 北信越かがやき総体)

2012 年 7 月 28 日 (土) ~ 8 月 2 日 (木) 新潟県
北信越高校総体の結果 (6/15-17 石川県西部緑地陸上競技場)
市内関係選手 5 種目で優勝

[男子] 6 種目 (12 名) が高校総体へ出場(H23は9種目13名が出場)

- 中野 直哉 長野吉田3 400mH 1位 52.04 大会新
- 太田 一矢 北部3 やり投 1位 57.53
- 宮林 凌太 長野工業3 棒高跳 2位 4.60
- 朝倉 雅貴 松代3 三段跳 4位 14.25(+0.3)
- 上野 正輝 長野日大3 棒高跳 5位 4.30
- 野崎 隼冬 長野工業3 砲丸投 6位 13.05
- 宮之本 航 長野吉田3 4×400mR 6位 3:20.30
- 宮川 将輝 長野吉田3 大許 紘生 長野吉田3
- 中野 直哉 長野吉田3 渡辺 岳人 長野吉田2
- 増田 勇輝 長野吉田2 渡辺 光孝 長野吉田2

[女子] 8 種目 (19 名) が高校総体へ出場(H23は9種目13名が出場)

- 大日方 紗愛 文化学園長野3 七種競技 1位 4354 点
- 瀧澤 彩 長野 3 400mH 1位 59.39
- 400m 5位 56.58
- 湯澤 ほのか 長野東 3 3000m 1位 9:20.85
- 内山 成実 長野吉田 2 400mH 2位 1:00.86
- 400m 4位 56.51

- 渡邊 莉帆 長野商 3 砲丸投 3位 11.46
- 木田 真美子 長野吉田 3 800m 3位 2:13.16
- 真柳 亜美 長野東 2 3000m 3位 9:34.36
- 大野 史緒里 長野吉田 2 4×400mR 3位 3:52.38
- 村上 りさ子 長野吉田 2 木田 真美子 長野吉田 3
- 内山 成実 長野吉田 2 池田 文美 長野吉田 3
- 鈴木 千穂 長野吉田 3 小山 綾菜 長野吉田 1
- 玉城 かな 長野東 3 3000m 4位 9:35.29
- 細田 あい 長野東 2 1500m 5位 4:32.33
- 新井 美貴子 長野 3 4×400mR 5位 3:52.76
- 前島 早瑛 長野 3 山田 聡子 長野 3
- 瀧澤 彩 長野 3 川口 真生 長野 3
- 塚田 舞 長野 3 中村 夏生 長野 2

[男子入賞者]

- 400mR 長野吉田 8位 43.17 渡辺 光孝(2) 渡辺 岳人(2)
- 増田 勇輝(2) 中野 直哉(3)
- 和田 侑也 松代 3 三段跳 8位 14m02(+2.1)

[女子入賞者]

- 北澤 奈々美 篠ノ井 3 200m 8位 26.18(-1.7)
- 小口 雪音 長野東 1 1500m 7位 4:38.56
- 真柳 亜美 長野東 3 3000m 7位 9:40.89
- 山田 聡子 長野 3 400mH 8位 1:04.81
- 大日方 紗愛 文化学園長野 3 走幅跳 8位 5.48(+1.0)
- 山崎 智世 長野吉田 3 七種競技 7位 4082 点

★全日本中学校陸上競技選手権大会出場確定... 3 名出場

2012 年 08 月 19 日 (日) ~ 22 日 (水) 千葉県総合

種目	氏名	中学学年	記録	大会名
男子 100m	松橋 大夢	犀陵 3	11.14(-0.3)	通信
男子 200m	松橋 大夢	犀陵 3	22.86(-0.9)	通信
男子 400m	内田 光一	篠ノ井西 3	51.69	県総体
女子 1500m	小林 希良莉	川中島 3	4:36.73	通信

平成24年度 長野市陸上競技協会 第1回理事会

長野市陸協H24年度第1回理事会が、7月2日に開催された。
H23年度長野市陸協一般会計決算、同特別会計決算、H24年度補正予算が原案どおり承認された。また、次のことが決まった。

☆浦野 義忠先生 秩父官章祝賀会 今からご予約下さい

日 時 平成24年12月8日(土) 11時30分開会
場 所 THE SAIHOKUKAN HOTEL(旧 長野ホテル犀北館)

☆富士通陸上競技部 長距離クリニック (長野市営陸上競技場)

主 催：富士通株式会社長野工場、長野市陸上競技協会
日 時：2012年7月28日(土) 8:30から11時
対 象：長野市内中学生 各中学陸上競技部長距離選手
指導者：富士通陸上競技部監督 高橋健一コーチ、岩水嘉孝選手
(2008北京五輪3000mSC代表、同日本記録保持者)他1名

ロンドンオリンピックまもなく開幕



後方左から水泳センター、展望台「オービット」、オリンピックスタジアム
手前のテント群は手荷物検査場などセキュリティチェック施設

★北信地区審判員講習会開催・・・下記のとおり

B級審判員を取得し何年も経過している皆さんは、是非受講して下さい。規則は毎年変わっています。規則に精通することが審判員の最低条件です。その規則を知らないままですと、競技会の運営にも支障を来します。また、A級への昇格条件にもなりますので、ご都合をつけご出席下さい。また、審判員取得希望者(年齢は高校3年生以上)がございましたらご案内下さい。本講習会と大会での研修出席3回が、取得の要件となります。会員増加にご協力下さい。

持ち物：審判員手帳・筆記用具・ルールブック・ハンドブック

4月の日本陸連審判講習会出席者はその配付資料。

(理事長・審判部長)

★日本選手権(混成競技)のお礼とお願い

大会開催にあたり、共催・協賛・ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。あらためてお礼申し上げます。

長野市陸協会員の皆様には、準備・運営そして大会後の片付けまでご協力いただき感謝申し上げます。課題が多々あるかと思っておりますので、お気づきの点について、どのようなことでもかまいませんので、理事長までご一報下さい。また、大会リーフレット、ポスター、プログラムが若干残っております。必要な方は北信選手権の折りに、受付にてお申し付け下さい。
(会長・理事長)



オリンピックパークの看板とオリンピックスタジアム

(写真提供 石井 朗生氏)

ロンドンオリンピック陸上競技の予定

※時間は現地時間(英国の時間は日本-8時間)

8/3 W100 予選、M400mH 予選、W10000m 決勝他、8/4 M100m 予選、W100 準決・決勝、M10000m 決勝他、8/5 W マラソン、M ハンマー投、M100m 準決・決勝、M3000mSC 決勝他、8/6 M400m 決勝、M400mH 決勝他、8/7 M200m、M110mH・W5000m 予選、M1500m 決勝他
8/8 十種競技1日目、W200m・W400mH・M110mH 決勝他、8/9 十種競技2日目、M1600mR・W400mR 予選、W1500m 決勝他、
8/10 M1600mR・W400mR 決勝、M400mR 予選他、8/11 M50km・W20km 競歩・M やり投・M5000m・M400mR 決勝他、8/12 M マラソン

◆ 事務局からのご連絡・お願い ◆

- 1) 北信地区審判講習会：平成24年8月5日(日) 会場：長野市営陸上競技場会議室
◆新規取得者 9時30分受付 講習会10時~12時 ◆審判員一般講習会 12時30受付 15時まで
- 2) 9-10月の大会審判員が例年不足します。最低1回はご協力をお願いします。
- 3) 第2回理事会：8月19日(日) 北信選手権終了後、理事会構成員の皆様ご出席下さい。
- 4) 長野市陸協登録状況：審判員合計 126名：S級 22名、A級 22名、B級 82名選手 99名、合計 225名
未登録の皆さん(10名ほど)は、至急登録手続きをお願いします。(2012年6月末現在)
- 5) 長野陸協の会報と要覧(注文者のみ)を同封します。県陸協から発行が遅れたお詫びがありました。

◆ 編集後記 ◆

過日第96回日本陸上競技選手権大会(混成競技)が長野市で開催され、すでにロンドン五輪参加標準記録を突破している右代啓祐選手も参加し、日本の十種競技選手としては、東京五輪(1964年)以来48年ぶりとなるオリンピック代表入りを決めた。

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)は、7月27日メイン会場となるオリンピックスタジアムで開会式が行われ、陸上競技は8月3日(金)~12日(日)(日付は現地時間)にかけて開催される。日本との時差は8時間で、日本の方が8時間進んでいるため、日本時間でのテレビ観戦は未明(0~3時)~明け方(3時~)になる。私を含め、寝不足を覚悟して観戦を楽しみにしている陸上競技ファンも多い。

来年・再来年の日本陸上競技選手権大会(混成競技)も今年に引き続き、長野市での開催が予定されている。また、会報「動き」も平成22年の発行(第29号)から経費節減のため、内山理事長を中心に手作りで発行を続けている。これら陸上競技の普及・振興の取り組みは、陸上に向ける熱意ある多くの方々により支えられ、審判員の資質向上のためにも大きな成果が期待される。

(広報部長 田島 康彦)

ご健闘を祈る

Track & Field

ATHLETIC UNIFORM

スクールスポーツウェア専門
しなのメイト株式会社

(本 社) 〒389-0606
埴科郡坂城町大字上五明992-2
TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337
(新潟営業所) 〒950-0823
新潟市東区東中島2-18-41
TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216

THIS IS A CHALLENGE TO ME.